

雑司が谷旧宣教師館だより

第14号

2000年3月25日発行

豊島区立雑司が谷旧宣教師館

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎FAX (03)3985-4081



雑司が谷に理想郷を求めて

— マッカーレブと

雑司が谷学院について —

前号に続き、平成11年度東京文化財めぐり参加・雑司が谷旧宣教師館特別公開事業からの報告です。

明治40(1907)年、アメリカ人宣教師ジョン・ムーティアー・マッカーレブは、この地に雑司が谷学院という学生寮を開設し青年教育を行いました。後の昭和3年には幼稚園を創設し、日曜学校と併せて幼児教育に力を注ぎ、雑司が谷で生活を営んだ34年もの間、地元の多くの人々と親交を深めました。

開館10年の節目を迎えた昨年11月、この建物の持ち主であったマッカーレブのひとりとなりについて、マッカーレブの数少ない研究者であり、また開館に際して資料提供等多大なご協力をいただいた野村基之氏に上記のテーマで講演をしていただきました。

2時間の講演でしたが抜粋をご紹介します。

文化講演会 …… 講師 野村基之氏

【マッカーレブの名前の由来】

先ずマッカーレブの名前の由来ですが、マックというのはスコットランド・アイルランドでは子どもという意味があります。マッカーレブはケイレブさんの子どもの意です。このケイレブは旧約聖書の中の信仰の強い青年カレブからきています。マッカーレブの家族はおそらく代々自分の名前がカレブということで、自らの信仰を試し確かなものにしよとする信仰的な家族であったと思われます。(中略)

【選民思想】

次にマッカーレブであれ明治学院を作ったヘボン先生にしても、選民意識というもののあるいは聖なる民であるという意識が非常に強かったと思います。

(中略) 旧約聖書の中で、エジプトの奴隷から解放されたイスラエルの民が、モーゼと共にシナイ山で世界中の人々のために自分は聖なる民となる約束をいたしますが、これは西洋文化に道徳的・倫理的に深い影響を与えた契約的思想です。

新約聖書の中においても、イエスがマイイ伝の最後で弟子たちに、全世界に行って世界中の人をクリスチャンにしなさいと遺言をしますが、西洋文化にはユダヤキリスト教が大きい影響を与えているわけです。こういうことを抜きにして西洋文化を理解するのは不可能だと思います。キリスト教はローマ帝国から西洋に入り、ローマ教会はやがて国家権力と結び付き繁栄を極めるようになります。(中略)

【宗教改革から新世界へ】

16世紀にマルティン・ルーテルがでた宗教改革を行いました。ローマ教会が元々のキリスト教の姿から変わってしまったので、家の中のお掃除をしなくちゃならないとお掃除を始めたら、ローマ教会が



ら余計なことをするなと言われたので、それじゃ家出しますとローマ教会から飛び出して出来たのがプロテスタント、プロテストというのは文句をいうという意味で、ローマ教会の在り方に対して文句をいうからプロテストしたわけで、そこからプロテスタントが始まって、それがイギリスにあってそれからアメリカにいくわけです。

そのころの画期的な出来事といえばコロンブスのアメリカ大陸発見がありますね。ヨーロッパは特権階級がどうもいもの食っているけれど、貧しいものはどうしようもない。その上に信仰の弾圧もあるからもうだめだ。新しい世界へいこうということで新世界に向かっていった訳ですね。(中略)

【自由と独立・\$1ドル紙幣の意味するもの】

1776年7月4日、アメリカはイギリスから独立します。\$1ドル紙幣の左側に描かれたピラミッド。一番下にM. D. C. C. L. X. X. V. Iとあ

り13段のピラミッドになっています。MはミレニアムでDは5百、Lは50でXは10で合計すると1776になります。ピラミッドの頂点には見守る目玉が描かれ、ピラミッドの上には"ANNUIT COEPTIS"「神は我等の企てにくみしたまえり」とローマ時代の詩人・哲人ヴァージルの句の引用があり、ピラミッドの手前には植物が生え、後ろには砂漠が広がっています。(中略)

これはピラミッドの後ろの未開の地を、誰も汚したことの無い歴史の汚れていないアメリカ大陸=新世界を清く正しく理想的な国に作っていくんだ、そういう決意を表して1ドル紙幣が作られているのです。(中略) そういう中にマッカーレブさんは生まれて来ました。

(補足・南北戦争勃発の1861年9月25日、テネシー州ナッシュビル郊外に生る。1884年オク・クル・ワタニ - 入学。卒業後郷里で教鞭をとる。ワシントン州ワシントンのルック・オブ・ワイルドに入学。入学直後にスナッドグラス夫妻の日本伝道に出発する壮行会を目標。同校で世界伝道の幻と刺激を受ける。※野村基之著マッカーレブ年表参照)

【J・M・マッカーレブ来日】

1892年に、明治25年にマッカーレブさんは日本にきました。4年前に来日したスナッドグラスさんは海野川聖学院を手伝って秋田のほうで働いていました。マッカーレブさんは初め築地に住んで、今の聖聖路加病院のあるあたりですね。そして神田に慈善学校を子どもたちのために作りました。(中略)

当時は脱亜入欧論でアジアを脱してヨーロッパに逃げようという雰囲気でしたから英語を学びたいという人がいっぱいいるわけで、そういう中でアジアの中心の日本には、真面目な聖書の倫理観に基づく青年を作っていかなければならないということで、初め上野に東京ライバルスクールを作るんです。そして1907年には雑司が谷に寝食を共にする学生寮・雑司が谷学院を開設したんですね。(中略)

【帰国後】

太平洋戦争が始まる直前の1941年10月、マッカーレブはアメリカに帰ります。帰国後はロサンゼルスのパベイダイン大学で東洋哲学を教えながら、なんと反戦平和委員会を作って運動されているんですね。日系人強制収容所を訪ねては、困っていることはないかとお世話されていたということです。1953年11月1日、マッカーレブは93歳でその生涯を終えられました。

(省略が多すぎて講演の模様を十分に伝えきれないことをお詫言いたします。詳細は当館事務所までお問い合わせください。)

◇物体ないので多くの人に知らせないでください。

(館内・男・通行中発見。5回目。自転車。1/14)

▽こういう文化財をこれからも見られる機会に恵まれますように！ 池袋からくるぐる歩いてやっとなどりつきました。とてもキレイ。古いものは味わいがあると思いました。複雑な事情がなければ昔の建造物は出来るだけ保存されたいと思います。もう一度同じものを作ろうとしても難しい。新しい世代の人は写真でしか見られない。作る人がいない。作れる人がいなくなる。今日は落ちつく時間を与えていただいでどうもありがとうございました。(川崎30代・女・雑誌記事を見て、初めて。2/2)

🌸 花ごよみ 🌸

旧宣教師館の庭にもようやく春がやってきました。ツルニチニチソウ・モクレンが今満開とても綺麗です。

今回は「ゴッホのひまわり」について紹介したいと思います。旧宣教師館と画家ゴッホとは何の関係もありませんが、昨年、ゴッホが絵のモデルにしたヒマワリの花の子、孫…孫の種が、北海道釧路市の友人より「東京の空の下で咲かせてみませんか」と18粒送られてきました。この種子は横浜から千葉へ、千葉から長岡へ、長岡から北海道へとわたり育ったものです。

「ゴッホのひまわり」1994年4月、足立直義氏を通じて横浜ことも動物園より各地へ

品種特性 ソレイユ サンブル グラン
花は直径30cm 一重咲の一年草
高さ2m以上 ゴッホが描いた
ヒマワリ2種類のうちの1品種

この花は花の外側の舌状花がわずがによじれてるので、普段よくみかける花弁と咲いている姿が違うということです。

旧宣教師館の庭にも、ゴッホのひまわりの花が夏に咲きますことを期待して居ります。反日記

【編集後記】花ごよみを担当してきた反日記さんは3月で退職となります。花壇の手入れて話が弾んだことも多々あったということでした。ご意見・ご感想をお寄せくださった皆様有り難うございます。ゴッホのひまわり頑張ってください。(文責 浜地)